



# 大久保病院だより



## 骨粗しょう症について

整形外科  
佐々木敏江

### 骨粗しょう症とは？

骨が脆くなり、骨折しやすい状態のことです。骨がスカスカになると、荷物を持ち上げる、尻もちをつくなどちょっとしたことで背骨が潰れてしまいます（腰椎圧迫骨折）。つまりいて脚の付け根の骨折（大腿骨頸部骨折）をしてしまうと、入院・手術が必要になります。

骨粗しょう症は自覚症状が少ないため、骨折して初めて診断されることが多いのです。

### どのように診断するのか？

#### ①画像検査

骨密度検査——腰椎・大腿骨・前腕骨などの骨の量を測ります。

大久保病院の骨密度検査は予約の必要がないので、受診したその日に検査を行い、結果もその場で説明します。（図1）

単純XP検査—背骨の変形を調べます。

自覚症状のない背骨の骨折は、骨粗しょう症の治療の目安になります。

#### ②血液・尿検査

カルシウムの量や骨代謝マーカーを測ります。

治療を始めるにあたり、簡単に肝臓・腎臓の機能も調べます。

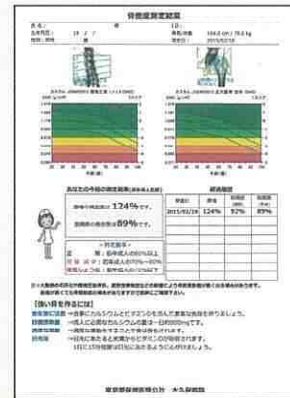


図1 骨密度検査結果表

### 治療法は？

①食事療法 成人女性の場合、一日あたりカルシウム 650mg を摂ることが推奨されています。これに加えて、カルシウムの吸収を助けるビタミンD、骨を作るのに重要なビタミンKを多く含む食品を摂ることも大切です。

②運動療法 適度な運動は、骨量を増やす効果があります。さらに運動により筋肉量が増えると、転倒予防にもつながります。

③薬物療法 主に3つのタイプがあります。

i 骨が壊れるのを防ぐ薬（骨吸収抑制剤）

間接的に骨の量を増やします。主に飲み薬になります。

ii 骨を作る薬（骨形成促進剤）

直接的に骨の量を増やします。主に注射になります。

iii その他 カルシウム・ビタミンD・ビタミンKなど

当院では木曜日午前に整形外科にて骨粗しょう症の専門外来を設置しています。骨粗しょう症についてお悩みや気になること等ございましたら、予約センター（03-5285-8811）よりご予約の上ご来院下さい。

## 新しいMRI装置は患者さんにやさしい検査ができます

当院では、先端技術を搭載したMRI装置「SIGNA Explorer シグナ エクスプローラ」を導入しました。この先端技術を使用し、MR専門認定技師を中心に画質の向上に努め患者さんに有益な検査を提供いたします。



GE社製 1.5T MRI装置

### 特徴

#### ●動きに強い撮影

様々な状態の患者さんに対応できる体動補正技術を搭載しています。

#### ●静かな検査音

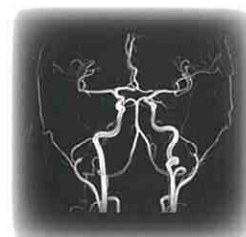
撮像の種類によっては、今まで以上に静かな撮像が可能になりました。

#### ●造影剤を注射しない血管の描出

特に頭部や頸部の血管を短時間で容易に撮影できます。

#### ●快適な空間

患者さんに気持ちよく検査を受けていただけるよう検査室内や待合室の整備を行ないました。



頭部血管 画像

MRIは、磁力と電波を利用して、体内のあらゆる部位を画像にするため、放射線の被ばくもありません。しかし、検査を行う前にペースメーカーや人工内耳などの体内金属の有無や安全チェックが必要です。



## 生理検査のご案内

生理検査とは、体の反応をいろいろな機械を用いて、波形や画像を記録して調べる検査です。

主な検査内容は、心電図検査・呼吸機能検査・超音波検査・脳波筋電図検査・睡眠時無呼吸検査・ピロリ菌検査等があります。

現在、生理検査室では7名の臨床検査技師が担当しています。学会認定資格を積極的に取得し、「認定心電図技師」「超音波検査士」「血管診療技師」の資格をもった技師が精度の高い検査を行っています。

個々の技師が複数の検査を担当することで、緊急検査の対応や患者さんの待ち時間の軽減ができるよう努めています。

患者さんの検査への不安を少しでも解消できるよう検査前に説明を行ってから検査を実施しています。質問等ありましたら気軽にお声掛けください。



公益財団法人 東京都保健医療公社  
**大久保病院**

〒160-8488  
東京都新宿区歌舞伎町2-44-1  
TEL 03-5273-7711(代表)  
URL <http://www.ohkubohospital.jp>

